

環境配慮個票

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業	地区名	北川	受益面積	5.4ha
関係市町村名	北川村	予定工期	平成30年度～令和3年度		
総事業費	165,200千円	R2年度以降事業費	25,200千円		
総事業量	区画整理工 5.4ha	R2年度以降事業量	区画整理工 1.5ha		
マスタープランの区分	環境配慮区域	自然公園等の指定	無		
既存資料による希少種の情報の有無		有 (R1 環境調査資料)			
<p>周辺の環境</p> <p>北川村は、95%が森林で、経営農地面積は0.7%と少なく、この少ない農地の半分がユズ園地であり、村としてもユズを柱とした地産外商により、村内で生活ができる収入を確保するための取り組みを実施している。気象は、年平均気温は16.3℃、年間降雨量は3,000～4,000mmと年間を通じて温暖多雨である。</p> <p>本地区は4工区あり、奈半利川中流部から上流部、また奈半利川二次支川である宗ノ上川沿いに位置した農村地域である。周辺には、国指定の重要文化財である魚梁瀬森林鉄道が縦断している工区も存在する。</p>					
<p>地区の環境の特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概況 宗ノ上工区は奈半利川の二次支川である宗ノ上川が中心を貫流し、ユズや水稻を中心に栽培されている。宗ノ川右岸では春から秋にかけて通水が行われているが、左岸では通年水が流れている水路と一部水が溜る箇所がある。小島工区は奈半利川の中流部、久江ノ上工区は上流部に位置し、この奈半利川に接しており、ユズや水稻を中心に栽培されている。二タ又工区は北川村のほぼ中央にあり、河川からは離れており、ユズを中心に栽培されている。 ・植物 現地調査の結果、宗ノ上工区では77科201種、小島工区では49科104種、二タ又工区では56科115種、久江ノ上工区では49科107種が確認された。 ・魚介類 現地調査の結果、宗ノ上工区では4科4種が確認された。 ・昆虫類 現地調査の結果、宗ノ上工区では47科103種、小島工区では25科46種、二タ又工区では33科60種、久江ノ上工区では24科39種が確認された。 ・両性・爬虫類 現地調査の結果、宗ノ上工区では4科5種、小島工区では2科2種、二タ又工区では2科2種、久江ノ上工区では1科1種が確認された。 					
<p>配慮すべき事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 希少な動植物への配慮 2. その他周辺環境への負担軽減 					
<p>配慮方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工事区域にある希少種については、類似環境を探し、移植・移動などの措置を講ずる。 2. 周辺環境への配慮として、降雨時での施工は行わず、場合によっては工事区域下流部に沈砂池を設けるなど、周辺河川への濁水流出を極力抑制する。 					